

発足50周年を祝して

上川北部消防事務組合

管 理 者

加 藤 剛 士

上川北部消防事務組合は昭和46年10月に、名寄市、下川町、美深町、風連町の1市3町を管轄する組合消防として発足し、昭和47年4月に中川町、音威子府村を加え、本年度で設立50年という大きな節目を迎えました。

この間、組合消防として組織体制、施設整備等を含む消防力の強化を進め、昭和、平成、そして令和へと時代をたどるなか、地域の皆様をはじめ、関係各位のたゆまぬご努力、そして深い郷土愛に支えられながら、道内でも有数な規模・組織力を誇る消防事務組合に発展してまいりました。

これもひとえに、構成市町村をはじめ、組合議会や多くの消防関係者並びに地域の皆様の深いご理解とご協力によるものと衷心より御礼申し上げます。

近年の災害を顧みますと、火災のみならず大地震をはじめ、大型台風や局地的集中豪雨など全国各地で大きな被害をもたらしており、救急活動においては社会全体が高齢化の一途をたどるなか、需要の増加、活動の高度化が進んでおります。

このように消防の担う役割が多角的になり、取り巻く環境は複雑多様化しておりますが、住民の生命・身体・財産を守るという消防機関の原点を守ることはもとより、消防力の向上を図り、その持てる装備及び人員を駆使し、各種災害による被害の軽減と災害等による傷病者の対応等を適切に行うという消防の責務に変わりはありません。

今後も先輩方が培ってきた様々な技術を継承しながらも、新たな技術や知識を積極的に取り入れ、時代に即した消防へと歩みを進めていくことが必要であると考えております。

結びに、地域に密着した消防として皆様の安全と安心を最優先に取り組んでまいり所存でありますので、地域の皆様をはじめ、ご尽力いただいております関係各位に、ご協力とご支援をお願い申し上げ、設立50年にあたっての挨拶とさせていただきます。

発足50周年を記念して

上川北部消防事務組合

議会議長

東 千 春

上川北部消防事務組合が、昭和46年に組合消防としての第1歩を踏み出してから、50年の節目を迎えられましたことに、組合議会を代表して心からお祝いを申し上げます。

消防職員・団員の皆様におかれましては、地域住民の生命、身体及び財産を火災や地震・風水害などの災害から保護するとともに、被害を最小限にとどめるため、日頃より基礎的訓練はもとより、数々の技術習得に努められ、日常生活に大きな安心感をもたらしておりますことに、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

近年の日本は、特に大地震や温暖化による局地的集中豪雨などの予測しがたい自然災害が増加しており、消防機関に対する期待は増し、指導的役割についてもより一層求められるところとなっています。

どうか、これまでの50年にわたる歳月の中で培った経験と技術力で、今後も発生するであろう各種災害に対応し、地域住民の命を守るという崇高な使命のもと、安心して生活できるまちづくりの実現に向けて邁進されることをご期待申し上げます。

組合議会といたしましても、皆様の日々の訓練の積み重ねと危険を顧みないたゆまぬ努力のもとに、私たちの安全安心な生活が守られていることを胸に刻み、住みよいまちづくりの実現に向けて、上川北部消防事務組合の消防力が充実されるよう努めてまいります。

結びに、これまで地域住民の期待に応えるべく、誠意をもって消防活動にご尽力いただいた皆様に対し、心から深く感謝を申し上げますとともに、上川北部消防事務組合が発足50周年を契機に更なる発展を遂げられますことと皆様のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。

「組合消防50年のあゆみ」発刊にあたって

上川北部消防事務組合

消 防 長

佐々木 幸 雄

上川北部消防事務組合は昭和46年10月に発足してから、昭和、平成、令和と年号の変遷を経て、このたび50周年という輝かしい節目を迎えました。

この半世紀の間、住民の生命、身体及び財産を守るため、火災・救急・救助等の警防体制及び火災予防体制の強化を図り、地域住民から信頼される消防行政の推進に努めてまいりました。

当組合は令和3年12月末現在、1市3町1村で構成され、人口35,827人、2,721.86平方キロメートルという広大な管轄面積を有しています。

組織体制は1本部、3署、2支署、6団、職員数119名、団員数381名で、消防車両をはじめとする消防施設・装備の充実強化が図られてきました。

これもひとえに、構成自治体をはじめ、組合議会や多くの消防関係者並びに地域の皆様のご理解とご協力によるものと心よりお礼申し上げます。

また、半世紀にわたる上川北部地域の消防の歴史を踏まえ、歴代消防長、さらには先達諸氏の今日までに至るご苦勞やご尽力に対し、改めて深く敬意と感謝の意を表すものであります。

近年、消防を取り巻く社会環境は予想もつかない速さで変化しており、警防・予防業務の複雑多様化、救急体制の高度化・広域化及び医療機関との連携強化、災害の大規模化など、地域の皆様からの消防に対する期待はますます大きくなっています。

また、戦後最大の国難となった平成23年の東日本大震災や平成30年に発生した北海道胆振東部地震などの大規模な自然災害へ対応する消防施策推進は喫緊の課題となっています。

今後とも、各種災害事象に即応するよう職・団員一同さらに精進を重ね、より強固な消防防災・危機管理体制の構築、さらには消防行財政の効率化を含む基盤整備に向け、最善の努力を傾注してまいりたいと考えております。

このたびの記念誌は、先人の築き上げられたこれまでの歩みを改めて振り返り、後世に残すことで、今後の歩むべき姿を見定め、当組合の発展を祈念することを目的に発刊したもので、この軌跡を胸に刻みながら、安心・安全なふるさとの実現に向け、消防職員・消防団員が一丸となって取り組んでまいりますので、皆様方のより一層のご支援をお願い申し上げます。

目次

Contents

発足50周年を祝して	上川北部消防事務組合	管理者	加藤 剛 士	1
発足50周年を記念して	上川北部消防事務組合	議会議長	東 千 春	2
「組合消防50年のあゆみ」発刊にあたって	上川北部消防事務組合	消防長	佐々木 幸 雄	3

上川北部 消防事務組合

沿革	5
概況	25
現況	26~27
機構	28
歴代管理者(名寄市長)	29
歴代議会議長	30
歴代消防長	31
消防本部	32

名寄消防

名寄消防の概要	33~35
名寄消防署・歴代副管理者(旧風連町長)・歴代署長	36~37
旧風連消防署・歴代署長	38
名寄消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	39~40
《団本部・本部分団・第1分団・第2分団・第3分団・第4分団》	41~46
風連消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	47~48
《団本部・第1分団・第2分団・第3分団・第4分団》	49~52
旧智恵文消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	53
外郭団体《名寄消防署》	54~55
《名寄消防署風連出張所》	56

下川消防

下川消防の概要・歴代副管理者(下川町長)	57
下川消防署・歴代署長	58~59
下川消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	60~61
《本部分団・第1分団・第2分団》	62~64
外郭団体	65

美深消防

美深消防の概要・歴代副管理者(美深町長)	67
美深消防署・歴代署長	68~69
美深消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	70~71
《団本部・第1分団・第2分団・第3分団》	72~75
外郭団体	76

中川消防

中川消防の概要・歴代副管理者(中川町長)	77
中川消防支署・歴代署長・支署長	78~79
中川消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	80~81
《団本部・第1部・第2部・第3部・第4部》	82~86
旧佐久消防団《歴代団長(組頭)》	87
外郭団体	88~89

音威子府消防

音威子府消防の概要・歴代副管理者(音威子府村長)	91
音威子府消防支署・歴代支署長	92~93
音威子府消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	94~95
《団本部・第1分団・第2分団》	96~97
旧咲来消防団《団旗・歴代団長(組頭)》	98~99
外郭団体	100

栄 誉

叙勲・褒章	101~102
-------	---------

各種記録

主な災害の記録	103~105
50年間の火災件数等全記録	106~109
50年間の救急件数等全記録	110~112
管内人口、管内世帯数、消防予算、消防職・団員数、火災件数、救急件数の推移	113~114
編集後記	115



上川北部消防事務組合

■沿 革

■概 況

■現 況

■機 構

■歴代管理者(名寄市長)

■歴代議会議長

■歴代消防長

■消防本部



上川北部消防事務組合 沿革

昭和46年

- 10月1日 ・名寄市、下川町、美深町、風連町の1市3町の構成により、上川北部消防事務組合を設立する。
- | | | |
|------|---------|-------|
| 管理者 | 名寄市長 | 池田幸太郎 |
| 副管理者 | 下川町長 | 川原満 |
| | 美深町長 | 長谷部秀見 |
| | 風連町長 | 中澤喜一 |
| 収入役 | 名寄市収入役 | 只木仁一 |
| 監査委員 | 名寄市監査委員 | 山洞金恵 |
| | 風連町議会議長 | 柿川弘 |
| 議会 | 構成市町各2名 | 計8名 |
| 議長 | 名寄市議会議長 | 古川清志 |
| 副議長 | 下川町議会議長 | 井上隆夫 |
| 消防長 | 名寄市消防長 | 中村志朗 |
- 1本部（2課4係）4署（各3係）1分遣所
6消防団で発足する。
職員定数77名 団員定数400名

昭和47年

- 1月31日 ・組合規約の改正が北海道知事に許可され、中川町、音威子府村の組合加入に伴い議員定数を12名、副管理者を5名とする。
- 3月31日 中川町と音威子府村の組合加入に伴う諸案件が可決され、副管理者に中川町長岡田国一氏、音威子府村長山田栄氏が就任する。
- 4月1日 ・「消防団の定員、任免、服務等に関する条例」の改正により団員の定年を50歳とする。
中川町、音威子府村の加入によって組合構成市町村は1市4町1村となる。
1本部（2課4係）5署（各3係）1支署（3係）、2分遣所、10消防団
職員定数95名 団員定数555名
- 7月26日 名寄消防団第2分団と第3分団に消防ポンプ自動車を配置する。
- 9月6日 名寄消防署に日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、「第二火災保険号」と命名する。
- 9月18日 音威子府消防支署にⅡ型軽化学消防自動車を配置する。
- 9月25日 美深消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置し、「美深1号車」と命名する。
- 10月1日 風連町南町に風連消防庁舎2階建と職員待機宿舎を新築する。



風連消防庁舎

- 10月7日 ・風連消防署に超短波無線電話を配置する。
- 11月17日 北海道消防表彰式が札幌市において行われ、中川消防団が北海道知事から竿頭綬を授与される。
- 11月27日 美深消防署、恩根内分遣所に水難救助用ゴムボート各1艇と救命胴衣各4着を配置する。

昭和48年

- 4月1日 ・職員定数を95名から98名とする。
- 7月11日 ・名寄消防署に名寄市から救急自動車の寄贈を受け、「そよかぜ」と命名する。
- 8月17日 北海道消防ポンプ操法競技会が札幌市において行われ、消防ポンプ自動車の部に出場した中川消防団が竿頭綬を授与される。
- 11月19日 ・名寄消防署、美深消防署中川消防署、音威子消防支署に超短波無線電話を配置する。
- 11月28日 ・旧中川小学校跡地に中川消防庁舎を新築する。
- 11月30日 名寄消防署に化学消防ポンプ自動車を配置し、「比翼」と命名する。



名寄消防署
「天使」と救急車「そよかぜ」



中川消防庁舎

昭和49年

- 3月30日 ・佐久消防団に消防ポンプ自動車を配置する。
- 4月1日 職員定数を98名から104名とし、団員定数は音威子府消防団40名を35名、咲来消防団40名を30名に減員し、540名とする。
- 月 下川町一の橋地区に上水道が完成し、消火栓16基を設置する。
- 7月5日 風連消防団第1部・第2部に消防ポンプ自動車を配置する。
- 7月26日 中川消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置し、「さくら」と命名する。
- 7月31日 ・北海道消防操法訓練大会が札幌市において行われ、中川消防団が小型ポンプの部で準優勝し、竿頭綬及び盾を授与される。
- 8月30日 名寄市長改選により、新管理者に石川義雄氏が就任する。
・風連町南町に職員待機宿舎を新築する。
- 10月2日 消防本部、名寄消防署、美深消防署、中川消防署に超短波無線電話を配置する。
美深消防署に小型動力ポンプと林野火災工作車を配置する。
- 10月12日 美深消防署に消防ポンプ自動車を配置し、「美深3号車」と命名する。
- 10月21日 ・美深消防署に救急自動車を配置し、「救急1号車」と命名する。
- 11月30日 ・美深町字南町に職員待機宿舎を新築する。
- 12月1日 ・美深消防署で、救急業務を開始する。



風連消防団第1部・第2部
消防ポンプ自動車



美深消防署
林野火災工作車

昭和50年

- 3月25日 ・管内消防職員の昇任試験を実施する。
- 4月3日 ・名寄消防署に資機材搬送車を配置し、「金剛」と命名する。
- 6月6日 統一地方選挙により、組合議会新議長に倉沢義衛氏を選出する。
- 8月5日 美深電報電話局中川地区がダイヤル化され、火災報知専用電話(119番)を設置する。
- 9月23日 中川消防署と音威子府消防支署に林野火災工作車を配置する。
- 11月5日 ・中川町に職員待機宿舎を新築する。
- 12月1日 下川消防署に日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、救急業務を開始する。
- 12月11日 組合議会において、非常勤消防団員に係る退職報償金の支給条例を制定する。

昭和51年

- 3月7日 美深消防署に美深ロータリークラブから人工呼吸訓練用人形の寄贈を受け配置する。
- 3月30日 ・「消防団の定員、任免、服務等に関する条例」の改正により団員の定年を55才とする。
- 4月1日 消防長中村志朗氏の退任に伴い、新消防長に石井重雄氏が就任する。
・職員定数を104名から107名とする。

昭和52年

- 3月7日 組合事務所を移転、監査委員任期の改正及び組合経費の分担率の改正に伴う組合規約の一部変更が許可される。
- 3月8日 監査委員柿川弘氏の退任に伴い、新監査委員に東野増太氏を選任する。
- 4月1日 名寄消防団と智恵文消防団が統合され、名寄消防団を1本部6分団とする。
音威子府消防支署に日本赤十字社から救急自動車の貸与を受け、救急業務を開始する。
- 4月30日 ・中川消防団に小型動力ポンプ付積載車を配置する。
- 7月1日 ・職員定数を107名から109名とする。
- 7月4日 音威子府消防支署に水難救助和船を配置し、「しらゆき」と命名する。
- 7月27日 美深電報電話局佐久地区がダイヤル化され、火災報知専用電話(119番)を中川消防署に設置する。
- 9月29日 収入役只木仁一氏の退任に伴い、新収入役に鈴木由雄氏が就任する。
監査委員東野増太氏の退任に伴い、新監査委員に中川政義氏を選任する。
- 10月4日 下川消防署に水槽付消防ポンプ自動車を設置し、

音威子府消防支署
水難救助和船「しらゆき」

- 10月27日 「水龍号」と命名する。
名寄消防署と風連消防署に小型動力ポンプ付水 槽 車を配置する。
- 11月10日 ・中川消防署に無線サイレン制御装置を設置する。
- 12月23日 ・北海道消防表彰式が札幌市において行われ、中川 消防団が模範消防団として北海道知事から表彰旗 を授与される。



名寄消防署
小型動力ポンプ付水槽車「水嶺」

昭和53年

- 2月10日 中川消防署に日本自動車工業会から救急自動車 の 寄贈を受け更新する。
- 4月1日 ・職員定数を109名から111名とする。
・風連消防署に救急自動車を配置し、「こすもす」と 命名する。救急業務を開始する。
・中川消防署が中川消防支署に名称変更する。
- 4月12日 ・美深消防署に専用電話録音機を設置する。
- 10月2日 美深消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配置 し 「美深5号車」と命名する。
- 10月16日 美深町福祉センターに無線遠隔電子サイレンを 設 置する。
無線固定局を美深町福祉センター並びに美深消 防 庁舎に置き併せて無線による広報設備を設置する。
- 10月30日 ・風連消防団第4部詰所を新築する。



風連消防署
救急自動車「こすもす」



美深消防署
小型動力ポンプ付水槽車「美深5号車」

昭和54年

- 4月1日 ・職員定数を111名から112名とする。
下川消防署警防係が第1警防係、第2警防係に 分 かれ、4係制とする。
- 6月18日 統一地方選挙により、新副管理者に中川町長宮 本 弘氏、音威子府村長中原彰氏が就任する。組合議 会新議長に古川清志氏、組合議会新副議長に山崎 幸一氏を選出する。
- 6月26日 音威子府消防団に小型動力ポンプ付積載車を配 置 する。
- 7月12日 ・下川消防団に小型動力ポンプを配置する。
- 8月3日 音威子府消防支署に無線サイレン制御装置を設 置 する。
- 8月31日 ・下川消防署の林野火災工作車を更新する。
- 9月1日 下川消防署第1警防係と第2警防係が警防係に な り、救急係を設置する。
- 9月14日 名寄消防庁舎を名寄市西4条北3丁目 14番地に新 築、消防本部及び名寄消防署が移転する。
- 10月11日 ・咲来消防団に小型動力ポンプを配置する。
- 10月14日 ・風連消防団第5部に消防ポンプ自動車を配置する。
- 10月18日 ・下川消防団第3分団の消防ポンプ自動車「菱光号」 を更新する。
- 12月21日 ・名寄消防署に広報車を配置する。



名寄消防庁舎

12月25日 ・中川町に職員待機宿舎を新築する。

昭和55年

- 1月1日 ・職員定数を112名から113名とする。
- 5月23日 ・美深消防署のサイレンを美深町民体育館へ移設し、恩根内地区のサイレンを無線遠隔吹鳴装置にする。
- 6月3日 佐久消防団が北海道消防協会会長から竿頭綬を授与される。
- 7月1日 ・下川消防署に下川少年消防クラブが発足する。
- 8月16日 ・咲来消防団に小型動力ポンプ付積載車を配置する。
- 9月10日 ・音威子府消防支署の救急自動車を更新する。
- 9月16日 名寄市智恵文 11線に名寄消防団第4分団詰所を建設し、同時に無線式サイレン吹鳴装置を設置する。
- 9月22日 ・美深消防団第2分団の消防ポンプ自動車を更新し、「美深4号車」と命名する。
- 10月12日 名寄消防 75年及び自治体消防30周年記念式典を名寄市民会館で開催し、記念誌「名寄消防75年の歩み自治体消防30周年を記念して」を発刊する。
- 10月15日 ・佐久消防団に消防ポンプ自動車を配置する。



咲来消防団
小型動力ポンプ付積載車

昭和56年

- 4月1日 管理者部局の職員定数(併任職員)を30名から75名とする。
消防長石井重雄氏の退任に伴い、新消防長に大宮彰氏が就任する。
- 5月9日 美深消防署に美深少年(少女)消防クラブが発足する
- 6月28日 美深消防団 70周年並びに美深消防署10周年記念式典を開催し、記念誌「美深消防70年の歩み」を発刊する。
- 6月30日 ・新副管理者に風連町長谷慶藏氏が就任する。
- 7月21日 美深町南児童館に無線遠隔吹鳴装置及び広報装置を設置する。
- 9月10日 名寄市役所智恵文支所前に名寄消防団第5分団詰所が建設され、同時に無線式サイレン吹鳴装置を設置する。
- 10月1日 監査委員山洞金恵氏の退任に伴い、新監査委員に関根貞好氏を選任する。
名寄消防団第5分団の消防ポンプ自動車を更新する
- 11月7日 佐久消防団器具格納庫を新築し、無線式サイレン吹鳴装置を設置する。
- 11月9日 ・音威子府消防庁舎を新築する。
- 11月13日
- 12月26日 ・音威子府村に職員待機宿舎を建設する。



美深消防署
美深少年(少女)消防クラブが発足



音威子府消防庁舎

昭和57年

- 1月28日 ・名寄消防署の救急自動車「天使号」を更新する。
- 5月12日 ・美深消防署に水難救助用ゴムボートを配置する。
- 5月25日 ・美深消防署に日本赤十字社和寒分区から救急自動車 譲り受け、「救急2号車」と命名する。
- 6月4日 ・音威子府消防支署に指令車を配置する。
- 6月24日 風連消防団第3部に小型動力ポンプ付積載車を 配置する。
- 7月3日 ・下川消防署の救急自動車を更新する。
- 7月16日 美深消防団第1分団に小型動力ポンプを配置し、美深2号車に積載する。
- 9月10日 名寄市豊栄 53番地に、名寄消防団第3分団詰所が新築され、同時に無線式サイレン吹鳴装置を設置する。
- 9月19日 下川消防団創立 60周年記念式典を開催し、元下川消防団部長の石沢忠雄氏と消防団員の協力により「纏」を作製する。
- 9月29日 恩根内消防団に消防ポンプ自動車を配置し、「恩根内1号車」と命名する。
- 10月17日 風連消防団創立 70周年記念式典を風連町福祉センターで開催する。
- 10月29日 ・咲来消防団が北海道知事から竿頭綬を授与される。
- 12月7日 名寄消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新し、「銀河」と命名する。
- 12月16日 ・職員定数を113名から114名とする。



下川消防団創立「纏」



名寄消防署
水槽付消防ポンプ自動車「銀河」

昭和58年

- 1月20日 風連消防署に水力発電施設周辺地域交付金にて 消防用無線サイレン制御装置を設置する。
- 3月1日 下川消防団員定数を 88名から75名に減員し、団員定数を527名とする。
- 3月16日 ・名寄市災害救助活動協力会が設立される。
- 3月24日 音威子府消防団に水槽付消防ポンプ自動車を配置する。
- 4月1日 下川消防団の組織改組(下川鉱業所休山)により、第3分団を廃止し、2分団制とする。
- 4月9日 ・美深消防署へ連絡車を配置する。
- 5月31日 統一地方選挙により、新副管理者に下川町長原 田 四郎氏が就任する。組合議会新議長に北出富夫氏、組合議会新副議長に吉原保夫氏を選出する。監査委員中川政義氏の退任に伴い、新監査委員 に 桜庭康喜氏を選任する。
- 7月18日 ・名寄消防署の救急自動車「そよかぜ」を更新する。
- 7月14日 ・美深消防署に水難救助和船並びに船外機を配置し、「松山丸」と命名する。
- 8月17日 名寄市字旭東に名寄消防団第1分団詰所が建設さ



音威子府消防団
水槽付消防ポンプ自動車

- れ、名寄消防団詰所の分散配置が完了する。
- 9月21日 名寄消防署に日本損害保険協会から消防ポンプ自動車
の寄贈を受け、「保険号」と命名する。同時に
「第一保険号」及び「鈴石」を廃車とする。
- 9月22日 ・風連消防団第4部に小型動力ポンプ付積載車を配
置する。
- 10月17日 ・咲来消防団に消防ポンプ自動車を配置する。
- 10月28日 北海道消防表彰式が札幌市において行われ、佐久
消防団が北海道知事から竿頭綬を授与される。

咲来消防団
消防ポンプ自動車

昭和59年

- 1月1日 ・下川消防署に機械係を設置し5係制とする。
- 3月6日 ・恩根内分遣所のサイレンを更新する。
- 3月30日 美深消防署に救助和船「松山丸」搬送用ポート
トレーラーを配置する。
- 5月24日 ・風連消防署に指令車を配置する。
- 6月8日 佐久消防団が北海道消防協会から表彰旗を授与
される。
- 7月12日 美深消防署に日本赤十字社から救急自動車の寄
贈を受け「救急1号車」を更新する。
- 9月6日 ・美深消防署の林野火災工作車を更新する。
- 9月14日 ・佐久消防団に小型動力ポンプ付積載車を配置する。
- 10月1日 消防長大宮彰氏の退任に伴い、新消防長に安西正
好氏が就任する。
- 10月30日 名寄消防署が火災案内装置によるテレホンサー
ビスを開始する。
- 12月26日 ・中川消防団に消防ポンプ自動車を配置し、「これ」
と命名する。

昭和60年

- 2月6日 ・名寄消防署に指令車を配置する。
- 2月13日 ・下川消防団の消防ポンプ自動車「団2号」を更新し、
第1分団に配置する。
- 5月1日 ・美深消防署に蘇生法教育人体モデルを配置する。
- 7月5日 監査委員関根貞好氏の退任に伴い、新監査委員に
森山徳重氏を選任する。
- 9月18日 ・中川消防支署に小型動力ポンプ付水槽車を配置し、
「いちい」と命名する。
- 9月30日 ・恩根内消防団に小型動力ポンプ付積載車を配置し、
「恩根内2号車」と命名する。

中川消防支署
小型動力ポンプ付水槽車「いちい」

昭和61年

- 4月1日 消防長安西正好氏の退任に伴い、新消防長に角尾
信一氏が就任する。
- 8月11日 ・監査委員桜庭康喜氏が名寄市議会議員を辞職する。
- 8月22日 佐久消防団に水槽付消防ポンプ自動車を配置し、
「つつち」と命名する。

- 8月30日 名寄市長改選により、新管理者に桜庭康喜氏が就任する。
- 9月13日 ・美深消防団第1分団の消防ポンプ自動車「美深2号車」を更新する。
- 10月6日 ・風連消防団第1部・第2部に水槽付消防ポンプ自動車を配置する。
- 10月8日 ・名寄消防署の化学消防ポンプ自動車を更新する。
- 12月11日 ・監査委員に鈴木参氏を選任する。

昭和62年

- 1月1日 美深消防団が無火災500日を達成し、北海道消防協会上川地方支部及び上川地区団長会から表彰を受ける。
- 6月5日 統一地方選挙により、新副管理者に美深町長岩木実氏が就任する。組合議会新議長に野村義正氏を選出する。
収入役鈴木由雄氏の退任に伴い、新収入役に小野正行氏が就任する
- 6月8日 ・「消防団の定員、任免、服務等に関する条例」の改正により団員の定年を58才とする。
- 6月25日 ・下川消防署に指令車を配置する。
- 7月7日 中川消防支署に日本赤十字社から救急自動車の貸与を受け、「ひまわり」と命名する。
- 7月23日 音威子府消防支署に救助和船用ポートトレーラーを配置する。
- 7月25日 中川消防団に消防ポンプ自動車を配置し、「かつら」と命名する。
- 9月6日 ・風連町に職員待機宿舎を新築する。
- 9月10日 美深町字恩根内地区に営農飲雑用給水施設が完成したことに伴い、消火栓8基を新設する。
- 9月29日 名寄市内の火災報知専用電話(119番)が1回線増設され3回線となる。



名寄消防署
化学消防ポンプ自動車



中川消防団
消防ポンプ自動車「かつら」

昭和63年

- 1月5日 名寄消防出初式において、30年ぶりに登梯が復活する。
- 3月9日 日本消防協会表彰式が日本消防会館で行われ、佐久消防団が竿頭綬を授与される。
- 4月1日 消防長角尾信一氏の退任に伴い、新消防長に菊池隆志氏が就任する。
- 7月7日 風連消防署に日本赤十字社から救急自動車の貸与を受け更新する。
- 7月20日 下川町の主催で自衛隊、町、消防、警察、営林署等をはじめ、住民が一体となって防災訓練を実施する。
対策班編成訓練、消火班編成訓練、移動訓練、通信訓練、交通規制訓練、避難広報訓練、自衛隊へ



自衛隊ヘリによる空中消火訓練

9月4日	りによる空中消火訓練などを実施する。 名寄消防署が医師、看護師を含め消防職・団員による大規模な特殊救急訓練を南広場にて実施する。
11月2日	美深消防署の水槽付消防ポンプ自動車「美深1号車」を更新する。
11月4日	音威子府消防支署に水槽付消防ポンプ自動車を配置する。
昭和64年	
1月7日	・昭和天皇が崩御され元号が「平成」と改元される。
平成元年	
9月18日	・上川北部幼少年婦人防火委員会が設立される。
9月20日	全道をネットする救急医療情報システムが導入され、端末機が設置される。
10月24日	・名寄消防署に消防ポンプ自動車を配置し、「鈴石」と命名する。
11月8日	・下川消防署の林野火災工作車を更新する。
11月16日	・音威子府消防支署の救急自動車を更新する。
12月6日	消防団活性化事業により恩根内消防団拠点施設を新築する。
平成2年	
4月1日	恩根内消防団が美深消防団との統合により美深消防団恩根内分団となり、美深消防団の定員を100名、佐久消防団を30名とし、団員定数を507名とする
4月10日	・風連消防署に総合気象観測装置を設置する。
7月26日	・美深町字恩根内地区に職員待機宿舎を建設する。
8月1日	名寄消防署の組織改正により、庶務課・予防課・警防課の3課制とし、7係5担当制とする。
8月25日	名寄消防署に日本赤十字社から救急自動車の貸与を受け、「そよかぜ」を更新する。
9月1日	上川北部消防事務組合で最初の女性消防団員10名が下川消防団に入団し、第1分団付きとする。
9月5日	中川消防団、佐久消防団の小型動力ポンプを更新する。
10月1日	風連消防署の組織改正により、機械係・救急係を新設し、5係制とする。
11月19日	名寄消防団第1分団の消防ポンプ自動車を更新する
11月20日	・下川消防団第1分団の消防ポンプ自動車「団1号」を更新する。
11月30日	美深消防署北側に美深町コミュニティ消防センターを新築する。
12月18日	美深町コミュニティ消防センター落成記念式典を開催する。



音威子府消防支署
水槽付消防ポンプ自動車



下川消防団
女性消防団員入団式

平成 3 年

- 3月6日 ・風連消防団が消防庁長官から竿頭綬を授与される。
- 4月1日 消防長菊池隆志氏の異動に伴い、新消防長に斎藤 藤正一氏が就任する。
- 6月5日 統一地方選挙により、新副管理者に中川町長松田政敏氏、音威子府村長宇佐見秀明氏が就任する。監査委員鈴木参氏の退任に伴い、新監査委員に今藤正美氏を選任する。
- 7月6日 美深消防署に船外機を配置。水難救助用ゴムボートに装備し、「第2松山丸」と命名する。
- 7月20日 音威子府消防団に日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、「匠号」と命名する。
- 9月25日 名母トンネルの開通に先立ち、交通事故を想定した訓練を実施する。
- 9月27日 上川北部幼少年婦人防火委員会主催の幼年消防大会が名寄市において開催される。
- 11月13日 名寄消防団第2分団の消防ポンプ自動車を更新する
- 12月6日 監査委員森山徳重氏の退任に伴い、新監査委員に大谷達男氏を選任する。



風連消防団
消防庁長官から竿頭綬を授与



音威子府消防団
水槽付消防ポンプ自動車「匠号」

平成 4 年

- 3月5日 ・「消防団の定員、任免、服務等に関する条例」の改正により、団員の定年を60才とする。
- 4月1日 組合構成市町村をもって、上川北部危険物安全協会を設立する。
名寄消防団本部分団に女性消防団員6名が入団する
- 美深消防団に名誉町民西尾六七氏から消防団旗が寄贈される。
- 5月12日 ・音威子府消防支署の指令車を更新する。
- 6月25日 ・風連消防団創立80周年記念式典を開催する。
- 7月31日 佐久消防団が北海道消防操法訓練大会において準優勝となり、楯及び表彰状を授与される。
- 9月25日 上川北部幼少年婦人防火委員会主催の幼年消防大会が開催される。
美深消防署に日本赤十字社から救急自動車の寄贈を受け、「救急1号車」を更新する。昭和59年寄贈の救急1号車を「救急2号車」へ改称、昭和57年寄贈の救急2号車を廃車とする。
- 10月4日 下川消防 70周年記念式典を開催し、記念誌「下川消防70年の歩み」を発刊する。
- 10月22日 美深消防署の消防ポンプ自動車「美深3号車」を更新する。
- 12月4日 名寄市・下川町・中川町・音威子府村で緊急通報システムの運用を開始する。



北海道消防操法訓練大会
佐久消防団準優勝



幼年消防大会



美深消防署
消防ポンプ自動車「美深3号車」

12月17日	名寄消防団第5分団に小型動力ポンプ付水槽車を配置する。	
平成5年		
2月26日	・防災まちづくり事業により美深町に緊急通報システムが導入され、運用を開始する。	
4月19日	美深消防署に指令車を配置し、連絡車を廃車とする	
6月24日	・中川消防支署に指令車を配置する。	
7月6日	監査委員大谷達男氏の退任により、新監査委員に北出秀春氏を選任する。	
8月1日	・完全週休二日制が実施される。	
10月7日	・下川消防団にマイクロバスを配置し、「防災車両」と命名する。 ・組合議会新副議長に清水長英氏を選出する。	
10月25日	名寄消防署に国際ソロプチミスト協会から救急自動車の寄贈を受け、「天使」を更新する。	 <p>名寄消防署 救急自動車「天使」</p>
10月29日	・中川町に職員待機宿舎を新築する。	
11月26日	・風連町で緊急通報システムの運用を開始する。	
12月9日	名寄消防団第3分団の消防ポンプ自動車を更新する	
平成6年		
3月7日	名寄消防署にコンピューター通信指令装置を導入する。	
3月18日	風連消防団第5部詰所を新築し、風連コミュニティ消防センターとする。	
4月1日	消防長斎藤正一氏の退任に伴い、新消防長に横山良夫氏が就任する。 名寄消防団第4分団と第5分団が統合し、第4分団となる。 美深消防署の組織改正により、警防係を第1係と第2係に分け、6係制とする。	 <p>下川消防署 小型動力ポンプ付水槽車「水槽車」</p>
5月1日	下川消防団に本部分団が設置され、3分団制となる	
9月30日	・名寄消防署の資機材搬送車「金剛」を更新する。	
10月	北海道婦人防火クラブ連絡協議会主催による道北地区大会が名寄市において開催される。	
12月22日	下川消防署の消防ポンプ自動車「隼号」を小型動力ポンプ付水槽車に更新し、新たに「水槽車」と命名する。	
平成7年		
1月18日	風連消防団第5部に小型動力ポンプ付水槽車を配置し、「つばさ」と命名する。	
2月10日	佐久消防団が技能熟達と消防使命の達成に努められた功績により、日本消防協会から表彰旗を授与	 <p>佐久消防団 日本消防協会から表彰旗を授与</p>

- 3月30日 ・中川消防支署の水槽付消防ポンプ自動車「さくら」を更新し、新たに「こぶし」と命名する。
- 4月1日 ・職員定数を114名から117名とする。
・咲来消防団が音威子府消防団と統合され、音威子府消防団第2分団とし、団員定数を15名減員、492名とする。
- 6月2日 統一地方選挙により、組合議会新議長に宗片利彰氏を選出する。
収入役小野正行氏の退任に伴い、新収入役に嶋田堅司氏が就任する。
監査委員今藤正美氏の退任に伴い、新監査委員に福光哲夫氏を選任する。
- 9月18日 下川消防署に北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け更新する。
- 9月29日 ・美深町東1条南5丁目に職員待機宿舎を新築する。
- 11月30日 風連消防署の水槽付消防ポンプ自動車「雨龍号」を更新する。
- 12月15日 音威子府消防団第1分団に小型動力ポンプを配置する。
- 12月21日 ・名寄消防署の小型動力ポンプ付水槽車を更新する。



風連消防署
水槽付消防ポンプ自動車「雨龍号」

平成8年

- 4月1日 消防長横山良夫氏の退任に伴い、新消防長に齋藤義雄氏が就任する。
- 5月8日 風連消防団第1部・第2部に小型動力ポンプを配置する。
- 月 防災運行ヘリコプター連絡協議会の設立により、防災ヘリコプターが運行される。
- 10月1日 上川北部消防事務組合消防職員委員会が設立される
- 10月3日 中川消防支署に北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、「ひまわり」を更新する
- 10月22日 ふるさと消防団活性化事業で、下川消防団に台車付軽可搬小型動力ポンプ、心肺蘇生訓練用人形を配置する。
- 11月3日 名寄市長改選により、新管理者に島多慶志氏が就任する。
- 11月5日 音威子府消防団第2分団に小型動力ポンプを配置する。
- 12月25日 名寄消防署に名寄油和会から連絡車の寄贈を受け配置する。
- 12月26日 美深消防団恩根内分団に小型動力ポンプ付水槽車を配置し、「美深6号車」と命名する。「恩根内3号車」(ニッサンジュニア積載車)を廃車とする。



中川消防支署
救急自動車「ひまわり」

平成9年

- 1月27日 ・風連消防団第1部・第2部の消防ポンプ自動車「瑞生号」を更新する。
- 3月5日 ・監査委員北出秀春氏の退任に伴い、新監査委員に毛利勝美氏を選任する。
- 3月7日 ・職員定数を117名から118名とする。
- 4月1日 ・組合本部と消防署との人事交流を開始する。
風連消防団の組織改組により、5部制から4分団制に移行する。
- 5月19日 ・新副管理者に風連町長柿川弘氏が就任する。
- 11月 ・下川消防75周年を記念し「下川消防75年のあゆみ」を発刊する。
- 12月9日 ・組合議会新副議長に政所孝夫氏を選出する。
- 12月12日 ・美深消防団第2分団の消防ポンプ自動車「美深4号車」を更新する。

平成10年

- 1月5日 ・美深消防団恩根内分団の恩根内1号車を「美深7号車」、恩根内2号車を「美深8号車」へ改称する。
- 2月9日 組合規約の改正により、副管理者には構成町村長が就任することとなる。
- 4月1日 消防長齋藤義雄氏の退任に伴い、新消防長に川尻信一氏が就任する。
- 4月28日 ・下川消防署の小型動力ポンプを更新する。
- 5月11日 ・風連消防署の指令車を更新する。
- 9月30日 音威子府消防支署に北海道共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け更新する。
- 10月18日 ・中川消防支署に消防救急艇を配置し、「ポンピラ」と命名する。
- 12月25日 美深消防署の小型動力ポンプ付水槽車「美深5号車」を更新する。



美深消防署
小型動力ポンプ付水槽車「美深5号車」

平成11年

- 3月8日 ・職員定数を118名から121名とする。
- 3月11日 ・自治体消防50周年を記念し「名寄消防50年の歩み」を発刊する。
- 4月1日 音威子府消防支署で携帯119番ホットラインの運用を開始する。
- 5月1日 統一地方選挙により、新副管理者に下川町長安齋保氏、中川町長永吉大洋氏が就任する。
- 6月4日 組合議会新議長に大久保光義氏、組合議会新副議長に園部幹雄氏を選出する。
監査委員福光哲夫氏の退任に伴い、新監査委員に高見勉氏を選任する。
- 6月17日 ・下川消防署の指令車を更新する。

平成12年

- 2月1日 防災まちづくり事業で進められた中川町の防火水槽9基の整備配置が完了する。
- 3月15日 ・美深消防署に高規格救急自動車を配置する。
- 3月24日 ・上川北部救急業務高度化推進協議会が設立される。
- 3月28日 美深消防署の水難救助用ゴムボートを更新し、「天竜」と命名する。FRP和船「第1松山丸」及び船外機を廃棄とする。
- 3月31日 ・有珠山が噴火する。
- 4月1日 ・職員定数を121名から122名とする。
佐久消防団が中川消防団と統合され、中川消防団第2分団とし、団員定数を10名減員、482名とする。
名寄消防署の組織改正により、救急課を新設し、4課11係6担当制とする。
・美深消防署の高規格救急自動車を「救急1号車」、平成4年寄贈の救急1号車を「救急2号車」へ改称し、昭和59年寄贈の救急2号車を廃車とする。
- 4月12日 美深消防署並びに中川消防支署で組合最初の救急救命士が誕生する。
- 4月26日～28日 ・「北海道広域消防総合応援協定」に基づき、有珠山噴火に対し職員7名で編成されたポンプ隊を伊達市に派遣する。
- 6月7日 美深消防署に高度救急処置シミュレーター人形を配置する。
- 6月13日 昭和50年補助事業により新築した中川町の職員待機宿舎を町有地返還のため解体する。
- 8月23日 ・名寄開拓100年記念協賛「名寄市防火フェスティバル」が参加者521名により開催される。
- 9月13日 道営中山間地域総合整備事業で進められた下川町の防火水槽20基の整備配置が完了する。
- 9月19日 高速交通道での事故を想定した特殊救急事故の訓練を名寄バイパスで実施する。
- 10月1日 美深消防署で救急救命士乗務による救急救命処置(特定3行為)の業務を開始する。
- 12月22日 風連消防署の小型動力ポンプ付水槽車「神風号」を更新する。



美深消防署
高規格救急自動車「救急1号車」



有珠山噴火
ポンプ隊を伊達市に派遣

平成13年

- 月 風連消防署を除く、消防署・支署の緊急通報システムセンター機を更新する。
- 4月1日 消防長川尻信一氏の退任に伴い、新消防長に石崎堯氏が就任する。
・美深消防団に女性消防団員6名が入団する。
下川消防団を75名から70名、美深消防団を100名から90名、音威子府消防団を50名から40名に減員、団員定数を457名とする。



美深消防団
女性消防団員入団式

7月10日	中川消防支署が救急業務に関する覚書に基づき、幌延町字問寒別地区の救急業務を開始する。	
10月11日	中川消防支署に高度救急処置シミュレーター一人形を配置する。	
11月20日	・風連消防団第2分団詰所を新築する。 ・風連消防署の救急自動車「こすもす」を更新する。	
平成14年		
6月14日	音威子府消防支署に高度救急処置シミュレーター一人形を配置する。	
9月29日	下川消防 80周年記念式典を開催し、記念誌「下川消防80年のあゆみ」を発刊する。	
平成15年		
3月12日	美深町字仁宇布地区に緊急通信設備を設置し、消防無線不感地帯を改善する。	
4月1日	収入役嶋田堅司氏の退任に伴い、新収入役に小栗邦秀氏が就任する。 消防長石崎堯氏の退任に伴い、新消防長に西守氏が就任する。	
5月1日	統一地方選挙により、新副管理者に中川町長亀井義昭氏、音威子府村長千見寺正幸氏が就任する。	
6月23日	組合議会新議長に高見勉氏、組合議会新副議長に堀江英一氏を選出する。 監査委員高見勉氏の退任に伴い、新監査委員に三宅幹夫氏を選任する。	
11月18日	名寄消防署に高度救急処置シミュレーター一人形を配置する。	
11月21日	・名寄消防署に高規格救急自動車を配置する。	<p>名寄消防署 高規格救急自動車</p>
平成16年		
3月30日	中川消防団の小型動力ポンプ付積載車を更新し、新たに「せん」と命名する。	
4月1日	消防長西守氏の退任に伴い、新消防長に三宅章氏が就任する。	
6月19日	・天塩川水防公開演習が名寄市において開催される。	<p>中川消防団 小型動力ポンプ付積載車「せん」</p>
7月18日	・名寄消防創立100周年記念大会を開催する。	
11月1日	美深消防署管内に耐震性防火貯水槽3基を新設する	
12月27日	下川消防署の水槽付消防ポンプ自動車「水龍号」を更新し、新たに「タンク車」と命名する。	
平成17年		
3月4日	・中川消防団が消防庁長官から竿頭綬を授与される。	
3月31日	・「消防団の定員、任免、服務等に関する条例」の改正により、団員の定年を62才とする。	
4月1日	美深消防団恩根内分団を美深消防団第3分団へ改	<p>下川消防署 水槽付消防ポンプ自動車「タンク車」</p>

	称する。
7月30日	美深消防署管内の防火水槽1基を宅地造成のため撤去する。
9月22日	・組合議会新副議長に諸岡勇氏を選出する。
10月20日	・中川消防支署に高規格救急自動車を配置する。
平成18年	
1月23日	組合議会議長高見勉氏の辞任に伴い、組合議会新議長に田中之繁氏を選出する。
3月27日	名寄市と風連町の合併に伴い 風連消防署が名寄消防署風連出張所となる。
5月29日	監査委員毛利勝美氏の退任に伴い、新監査委員に森山良悦氏を選任する。
11月27日	名寄消防署の水槽付消防ポンプ自動車「銀河」を災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車に更新し、新たに「名寄2」と命名する。
平成19年	
5月1日	統一地方選挙により、新副管理者に美深町長山口信夫氏が就任する。
5月14日	組合議会新議長に小野寺一知氏、組合議会新副議長に武藤登氏を選出する。
6月11日	監査委員三宅幹夫氏の退任に伴い、新監査委員に田中好望氏を選任する。
9月15日	美深消防署の「美深8号車」を廃車とし、積載していた小型ポンプを 美深7号車へ積載する。
9月18日	・名寄消防署の広報車を更新する。
11月15日	北海道消防表彰式が札幌市において行われ、名寄消防団が北海道知事から竿頭綬を授与される。
平成20年	
4月1日	消防長三宅章氏の退任に伴い、新消防長に倉本 滝男氏が就任する。
7月7日 ～9日	・北海道洞爺湖サミット消防特別警戒に伴い上川北部消防事務組合隊として救急隊を派遣する。
7月24日	・第37回全道消防救助技術訓練指導会「ほふく救出」種目に初出場する。
8月1日	美深消防団第1分団の美深2号車に積載している小型動力ポンプを更新する。
12月5日	・「消防団の定員、任免、服務等に関する条例」の改正により、団員の定年を65才とする。
平成21年	
1月20日	携帯電話・IP電話等からの緊急通報に係る位置情報通知システムの運用を開始する。
3月6日	名寄消防団、音威子府消防団が消防庁長官から 竿頭綬を授与される。



中川消防署
高規格救急自動車



名寄消防署
災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車
「名寄2」

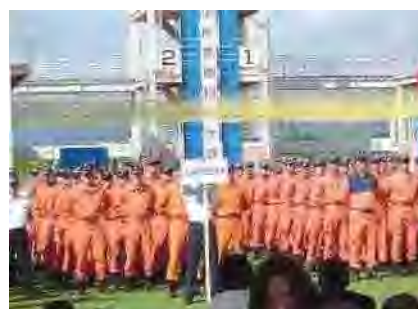


北海道洞爺湖サミット消防特別警戒に
救急隊を派遣

8月24日 美深消防署管内に耐震性防火貯水槽4基を新設する
美深町市街地の消防用自然水利維持管理を休止する

平成22年

2月19日 消防本部に日本消防協会より指揮広報車の寄贈を受け配置する。
3月5日 下川消防団、美深消防団が消防庁長官から竿頭を授与される。
3月30日 ・下川消防署に高規格救急自動車を配置する。
4月1日 消防長倉本滝男氏の退任に伴い、新消防長に野田利和氏が就任する。
4月23日 名寄市長改選により、新管理者に加藤剛士氏が就任する。
5月29日 監査委員森山良悦氏の退任に伴い、新監査委員に手間本剛氏を選任する。
8月27日 ・第39回全国消防救助技術大会「ほふく救出」種目に選出され初出場する。
12月20日 中川消防支署管内に耐震性防火貯水槽1基を新設する。



第39回全国消防救助技術大会
「ほふく救出」種目に初出場

平成23年

3月1日 名寄消防署に消防緊急通報受付指令システムを導入し、運用を開始する。
3月11日 ・東日本大震災が発生する。
3月28日 東日本大震災に伴い北海道緊急消防援助隊第6次隊として救急隊を派遣（宮城県石巻市）する。
4月25日 東日本大震災に伴い北海道緊急消防援助隊第13次隊として救急隊を派遣（宮城県石巻市）する。
5月1日 統一地方選挙により、新副管理者に中川町長川口精雄氏、音威子府村長佐近勝氏が就任する。
6月3日 組合議会新議長に黒井徹氏、組合議会新副議長に諸岡勇氏を選出する。
監査委員田中好望氏の退任に伴い、新監査委員に奥村英俊氏を選任する。
10月1日 ・音威子府消防団に女性消防団員4名が入団する。



東日本大震災に伴い北海道緊急消防援助隊
第6次隊として救急隊を派遣

平成24年

2月1日 ・名寄消防署の高規格救急自動車を更新する。
4月1日 消防長野田利和氏の退任に伴い、新消防長に小林健氏が就任する。
名寄消防署の組織改正により、警防課に通信情報システム係を新設し、4課10係1出張所5係体制とする。
9月15日 ・音威子府消防支署に高規格救急自動車を配置する。
9月30日 下川消防 90周年記念式典を開催し、記念誌「下川



音威子府消防支署
高規格救急自動車

12月13日 消防90年のあゆみ」を発刊する。
風連消防団第 2分団・第3分団の小型動力ポンプ付積載車を更新する。

平成25年

3月29日 美深消防署の指令車を指揮車に更新し、平成5年4月配置の指令車を廃車とする。

4月1日 下川消防団員定数を 90名から80名に減員し、団員定数を447名とする。

下川消防署の緊急通報システム事業を「みまもりシステム（下川町事業）」に移行する。

8月21日 ・消防本部に連絡車を配置する。

9月24日 音威子府消防団第1分団の小型動力ポンプ付積載車を更新する。

10月20日 ・風連消防100周年記念大会を開催する。

11月30日 ・中川消防支署庁舎を新築する。

12月5日 風連消防団第4分団の消防ポンプ自動車を更新する



中川消防支署新庁舎

平成26年

4月1日 消防長小林健氏の退任に伴い、新消防長に大野元博氏が就任する。

・職員定数を122名から123名とする。

・中川消防団に女性消防団員が5名入団する。

5月29日 監査委員手間本剛氏の退任に伴い、新監査委員に上田盛一氏を選任する。

7月7日 音威子府消防支署に高度救急処置シミュレーター人形を配置する。

9月26日 音威子府消防団第1分団の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。

10月5日 中川消防創立 100周年記念大会を開催し、記念誌「中川消防100年のあゆみ」を発刊する。

11月7日 ・美深消防庁舎を改修する。

11月18日 北海道消防表彰式が札幌市において行われ、美深消防団が北海道知事から竿頭綬を授与される。

12月15日 美深消防署の消防緊急通報受付指令設備を更新する



音威子府消防団第1分団
水槽付消防ポンプ自動車

平成27年

4月1日 ・消防救急デジタル無線の運用を開始する。

5月1日 統一地方選挙により、新副管理者に下川町長谷一之氏が就任する。

6月3日 ・組合議会新副議長に木下一己氏を選出する。

7月30日 ・音威子府消防支署の水難救助艇を更新する。

10月5日 ・下川消防団第2分団の消防ポンプ自動車「菱光号」を小型動力ポンプ付積載車に更新し、新たに「団3号」と命名する。



下川消防団第2分団
小型動力ポンプ付積載車「団3号」

- 10月21日 ・名寄消防署の化学消防ポンプ自動車を更新する。
- 10月27日 美深消防署の水槽付消防ポンプ自動車「美深1号車」を更新する。
- 11月19日 北海道国民保護共同実動訓練に救急隊2隊が参加する。
- 12月14日 美深消防署の高規格救急自動車「救急1号車」を更新する。



美深消防署
水槽付消防ポンプ自動車「美深1号車」

平成28年

- 2月22日 名寄消防署の緊急通報装置を更新し、受付業務を委託する。
- 3月18日 ・消防本部に非常用救急自動車(旧美深救急自動車)を配置し、常置場所を美深消防署とする。
- 10月19日 名寄消防署の緊急通報システム事業を業務委託(端末機レンタル)する。
・下川消防署の指揮車を更新する。



下川消防署 指揮車



音威子府消防支署 指揮車

平成29年

- 2月8日 ・音威子府消防支署の指揮車を更新する。
- 4月1日 消防長大野元博氏の退任に伴い、新消防長に菊池剛氏が就任する。
- 6月22日 美深消防署の小型動力ポンプ付水槽車「美深5号車」の小型動力ポンプを更新する。
- 8月18日 ・美深町東1条南5丁目の職員待機宿舎を解体する。



名寄消防署 救助工作車

平成30年

- 2月7日 ・名寄消防署に救助工作車Ⅱ型を配置する。
- 5月29日 監査委員上田盛一氏の退任に伴い、新監査委員に鹿野裕二氏を選任する。
- 9月6日 ・北海道胆振東部地震が発生する。
- 9月8日 北海道胆振東部地震における北海道消防広域応援隊として消防隊、後方支援隊を派遣(厚真町)する
- 9月26日 名寄消防署の高機能消防指令センター設備を更新する。
- 11月8日 下川消防署管内に耐震性防火貯水槽1基を新設する
- 11月13日 ・下川消防団第1分団の「団2号車」を更新する。
- 12月28日 ・組合議会副議長の木下一己氏が辞任する。



北海道胆振東部地震
北海道消防広域応援隊として消防隊、後方支援隊を派遣



下川消防団第1分団
消防ポンプ自動車「団2号」

平成31年

- 1月31日 ・中川消防支署の指揮車を更新する。
- 2月25日 ・携帯119番位置情報システムを導入する。
- 2月28日 ・組合議会新副議長に近藤八郎氏を選出する。
- 3月6日 消防本部、下川消防団が消防庁長官から表彰旗を授与される。
- 3月14日 音威子府消防支署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型



音威子府消防支署
水槽付消防ポンプ自動車

3月15日	を配置する。 ・名寄消防署の指揮車を更新する。	
令和元年		
5月1日	・第125代天皇が退位され、元号が「令和」と改元される。 統一地方選挙により、新副管理者に中川町長石垣寿聰氏が就任する。	
6月4日	組合議会新議長に東千春氏、組合議会新副議長に岩崎泰好氏を選出する。 監査委員奥村英俊氏の退任に伴い、新監査委員に塩田昌彦氏を選任する。	
7月29日	美深消防団第3分団の「美深7号車」に積載している小型動力ポンプを更新する。 美深消防署の小型動力ポンプ付水槽車「美深5号車」に積載している小型動力ポンプを更新する。	
8月29日	下川消防署に水難救助用ゴムボートを配置し、「しもかわ」と命名する。	 <p>下川消防署 水難救助用ゴムボート「しもかわ」</p>
8月30日	美深町民体育館に設置するモーターサイレン装置を更新する。	
9月26日	恩根内分遣所配置の「美深7号車」を運行停止、美深町役場へ無償譲渡する。	
10月1日	美深消防団第2分団の「美深団3号車」を恩根内分遣所へ配置換えする。	
令和2年		
2月19日	・消防本部に災害対応多目的エアテントを配置する。	 <p>消防本部 災害対応多目的エアテント</p>
2月27日	名寄消防団第4分団の小型動力ポンプ付積載車を更新する。	
9月11日	・美深消防団第1分団の「美深団1号車」を更新する。	
11月5日	下川消防署管内に耐震性防火貯水槽1基を新設する	
11月13日	・中川消防支署の高規格救急自動車を更新する。	
12月9日	管理者部局の職員定数（併任職員）を75名から51名とする。	
令和3年		
1月28日	風連消防団第1分団の水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新する。	 <p>美深消防団 消防庁長官から「表彰旗」授与</p>
2月3日	非常用救急自動車を更新（旧中川高規格救急自動車）する。	
3月6日	・美深消防団が消防庁長官から表彰旗を授与される。	
4月1日	消防長菊池剛氏の退任に伴い、新消防長に佐々木幸雄氏が就任する。	

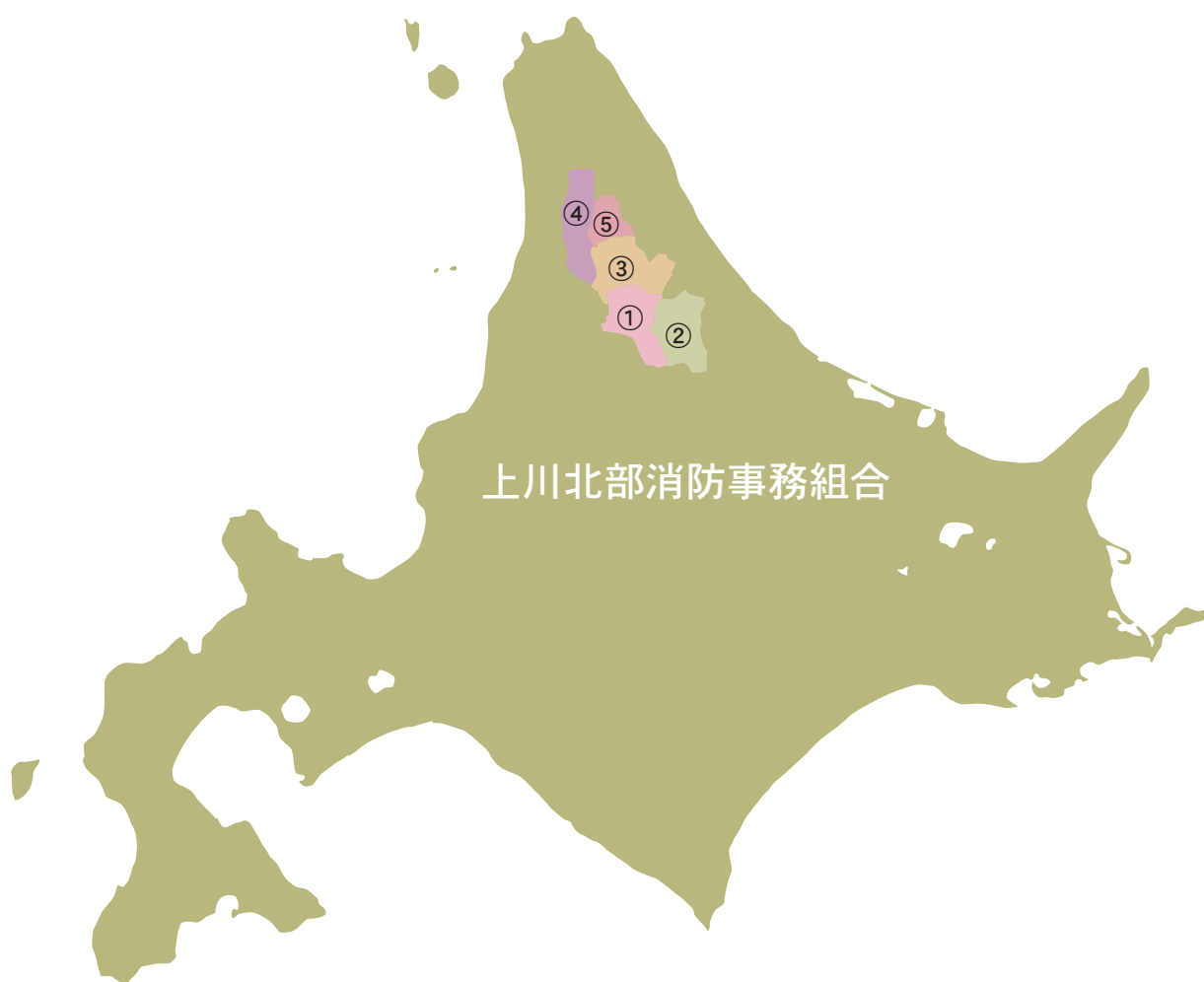


上川北部消防事務組合 概 況

令和3年12月31日現在

上川北部消防事務組合

	面 積	人 口	世 帯 数
① 名 寄 市	5 3 5 . 2 km ²	2 6 , 6 6 3 人	1 4 , 3 3 7 世帯
② 下 川 町	6 4 4 . 2 km ²	3 , 0 9 8 人	1 , 6 7 8 世帯
③ 美 深 町	6 7 2 . 0 9 km ²	3 , 9 7 1 人	2 , 1 0 1 世帯
④ 中 川 町	5 9 4 . 7 4 km ²	1 , 4 1 3 人	7 6 8 世帯
⑤ 音 威 子 府 村	2 7 5 . 6 3 km ²	6 8 2 人	4 6 3 世帯



面 積	2, 7 2 1 . 8 6 km ²
人 口	3 5 , 8 2 7 人
世 帯 数	1 9 , 3 4 7 世帯
構 成 市 町 村	1 市 3 町 1 村 (名寄市・下川町・美深町・ 中川町・音威子府村)

消 防 署 ・ 支 署 数	3 署 ・ 2 支 署 ・ 1 出 張 所 ・ 1 分 遣 所
消 防 団 数	団
消 防 職 員 数	1 1 9 人
消 防 団 員 数	3 8 1 人



上川北部消防事務組合 現 況

令和3年4月1日現在

上川北部消防事務組合

上川北部消防事務組合消防本部

消防本部（8名） うち北海道消防学校派遣1名

連絡車	2台
広報車	1台
高規格救急車	1台



名寄消防署・名寄消防団・風連消防団

名寄消防署（54名） 消：382基 防：41基

連絡車	2台
広報車	1台
指令車	1台
消防ポンプ自動車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
化学消防ポンプ自動車	1台
高規格救急車	2台
救助工作車	1台
小型貨物車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台

名寄消防団（116名）

消防ポンプ自動車	3台
小型動力ポンプ付積載車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台

名寄消防署風連出張所

連絡車	1台
指令車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台

風連消防団（62名）

消防ポンプ自動車	2台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
小型動力ポンプ付積載車	2台
小型動力ポンプ付水槽車	1台



下川消防署・下川消防団

下川消防署（15名）消：93基 防：29基

指令車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台

下川消防団（54名）

消防防災バス	1台
消防ポンプ自動車	2台
小型動力ポンプ付積載車	1台



美深消防署・美深消防団

美深消防署（17名）消：88基 防：33基

広報車	1台
指令車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台
小型貨物車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台

美深消防団（64名）

消防ポンプ自動車	3台
小型動力ポンプ付水槽車	1台



中川消防支署・中川消防団

中川消防支署（13名）防：51基

連絡車	1台
指令車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台

中川消防団（54名）

消防ポンプ自動車	2台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
小型動力ポンプ付積載車	1台



音威子府消防支署・音威子府消防団

音威子府消防支署（12名）防：16基

指令車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台

音威子府消防団（27名）

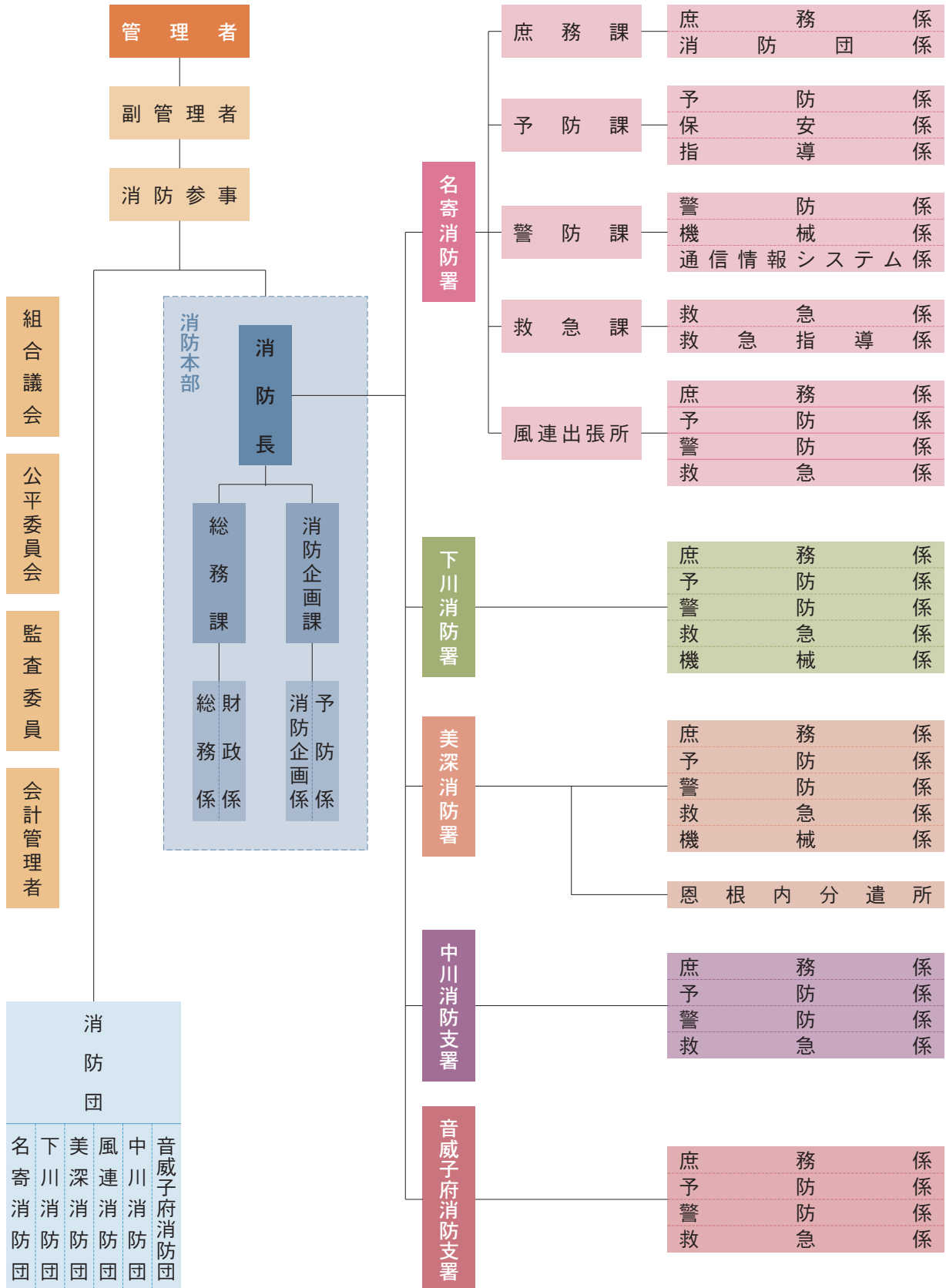
水槽付消防ポンプ自動車	2台
小型動力ポンプ付積載車	1台

消：消火栓
防：防火水槽



上川北部消防事務組合 機構

上川北部消防事務組合





上川北部消防事務組合 歴代管理者 名寄市長

初代管理者

池田 幸太郎

S46.10.1 ~ S49.8.29

2代管理者

石川 義雄

S49.8.30 ~ S61.8.29

3代管理者

桜庭 康喜

S61.8.30 ~ H8.11.2

4代管理者

島 多慶志

H8.11.3 ~ H22.4.22

5代管理者

加藤 剛士

H22.4.23 ~ 現在



上川北部消防事務組合 歴代議会議長

初代議長・3代議長

古川清志

S46.10.1 ~ S50.4.30
S54.6.18 ~ S58.4.30

2代議長

倉沢義衛

S50.6.6 ~ S54.4.30

4代議長

北出富夫

S58.5.31 ~ S62.4.30

5代議長

野村義正

S62.6.5 ~ H7.4.30

6代議長

宗片利彰

H7.6.2 ~ H11.4.30

7代議長

大久保光義

H11.6.4 ~ H15.4.30

8代議長

高見勉

H15.6.23 ~ H18.1.10

9代議長

田中之繁

H18.1.23 ~ H19.4.30

10代議長

小野寺一知

H19.5.14 ~ H23.4.30

11代議長

黒井徹

H23.6.3 ~ H31.4.30

12代議長

東千春

R元.6.4 ~ 現在



上川北部消防事務組合 歴代消防長

初代消防長

中村志朗

S46.10.1 ~ S51.3.31

2代消防長

石井重雄

S51.4.1 ~ S56.3.31

3代消防長

大宮 彰

S56.4.1 ~ S59.9.30

4代消防長

安西正好

S59.10.1 ~ S61.3.31

5代消防長

角尾信一

S61.4.1 ~ S63.3.31

6代消防長

菊池隆志

S63.4.1 ~ H3.3.31

7代消防長

斎藤正一

H3.4.1 ~ H6.3.31

8代消防長

横山良夫

H6.4.1 ~ H8.3.31

9代消防長

齋藤義雄

H8.4.1 ~ H10.3.31

10代消防長

川尻信一

H10.4.1 ~ H13.3.31

11代消防長

石崎 堯

H13.4.1 ~ H15.3.31

12代消防長

西 守

H15.4.1 ~ H16.3.31

13代消防長

三宅 章

H16.4.1 ~ H20.3.31

14代消防長

倉本滝男

H20.4.1 ~ H22.3.31

15代消防長

野田利和

H22.4.1 ~ H24.3.31

16代消防長

小林 健

H24.4.1 ~ H26.3.31

17代消防長

大野元博

H26.4.1 ~ H29.3.31

18代消防長

菊池 剛

H29.4.1 ~ R3.3.31

19代消防長

佐々木幸雄

R3.4.1 ~ 現在



消防本部

総務課長

渡 辺 敏 史

消防長

佐々木 幸 雄

消防企画課長

谷 口 直 寿



本部職員

職 名	氏 名
消 防 長	佐々木 幸 雄
総 務 課 長	渡 辺 敏 史
総務課総務係長	森 雄 馬
総務課財政係長	高 嶋 元 治
消 防 企 画 課 長	谷 口 直 寿
消防企画課企画係長	田 嶋 大 助
消防企画課予防係長	町 英 紀
北海道消防学校派遣	星 步 希
会計年度任用職員	山 田 友 里